

新潟県のポテンシャルを活かした音楽フェスの可能性

令和8年10月8日(木)
新潟県観光文化スポーツ部観光企画課

新潟県内で音楽フェスが持続的・発展的に開催され、若年層に選ばれる地となるため、必要な行政・民間の取組についてご意見をいただきたい。

【参考】先進市町村の取組事例

県内での取組例

- 地域密着型の運営
 - ・地元企業によるスポンサー参画
 - ・地元学生ボランティアとの協働による運営（ながおか米百俵フェス（長岡市））
- 持続可能な取組
 - ・植樹等による会場周辺の環境保全
 - ・森と親しむエリア「ボードウォーク」の整備
 - ・会場周辺の森林で伐採した間伐材の使用（FUJI ROCK FESTIVAL（湯沢町））

県外での取組例

- 開催地域への還元
 - ・収益金を琵琶湖の環境保全を目的として県・市に寄付
 - ・地元の子どもを対象としたバックヤードツアーの実施（FEST.INAZUMA（滋賀県草津市））
- 観光振興
 - ・フォトスポットやデザインマンホールの設置、飲食店を巡るとノベルティプレゼントなどフェス開催に合わせた周遊企画の実施（FEST.INAZUMA（滋賀県草津市））

本県にマッチする取組（音楽フェス）とは？

《議論の視点》

地域密着型の運営

- ・地元企業との連携（地元発注）
- ・地元学生、若年層の参画
- ・家族連れへの配慮
- ・住民との協働

新潟らしさ・独自性

- ・新潟の強み、コンテンツの活用（食、自然、文化など）
- ・開催時期
- ・地元出身アーティストの起用

持続可能な取組

- ・環境保全の取組
- ・フードロス対策
- ・ごみ・騒音対策
- ・開催地域への還元
- ・行政対応の一本化

フェスを契機とした周遊観光の促進・地域消費の創出